

県立鳴尾高等学校CAN-DOリスト

	聞くこと (L)	話すこと (S)	読むこと (R)	書くこと (W)
1 (1学年)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題や日常的な内容について、ゆっくり話されたら理解することができる。 何度か繰り返し聞けば、英語の指示に従って活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な語句を使って、自分の感情や感謝の気持ちなどを表現することができる。 日常生活の出来事や自分に関する事など限定的な話題であれば、簡単な表現で述べることができる。 学校や自分のことなど、身近な話題について、短い会話をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を、単語や熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。 簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を、イラストなどの補助を用いて理解することができる。 すでに習った英文を、発音やリズム、イントネーションに注意しながら、音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の趣味や好き嫌いを短い文で書くことができる。 辞書を使えば、簡単な内容の日記や、自分の経験を短い文で書くことができる。 数字(3ケタ以上)を書くことができる。
2 (1学年)	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくり話されたら、英語の説明を理解することができる。 リズム・イントネーションなど具体的に、話された英語の一部(すでに習った単語や表現など)を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題について、準備をした上で、簡単なスピーチをすることができる。 簡単な表現を用いて、待ち合わせなどの約束をすることができる。 自分が学んだことや経験したことであれば、簡単な表現を用いて、述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語で書かれたまとまりのある物語を読み、流れを理解することができる。 簡単な英語で書かれたまとまりのある説明を読み、内容を整理することができる。 簡単な英語で書かれたチラシやポスターの情報を概ね読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活での出来事や学校生活の感想を、簡単な表現を使って短い文で書くことができる。 身の周りの出来事、趣味、場所など、自分に直接関係があることならば、簡単な説明文を書くことができる。 簡単な表現を使って、写真や事物の説明文を書くことができる。
3 (2学年)	<ul style="list-style-type: none"> 授業で聞く身近な場面の内容を、何度か聞けば、その概要を理解することができる。 ゆっくり話されたら、自分が知っている外国の行事や習慣についての説明を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> すでに習った表現を使って、リズムやイントネーションに注意して、話すことができる。 よく知っている場所であれば、地図や道案内を見ながら、道順を教えることができる。 まとまりのある英語の文章を暗唱することができる。(レシテーション) 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語で書かれた身近な話題に関する調査・結果・グラフなどについて、その要点を理解することができる。 まとまりのある説明、評論、物語、随筆などについて、その概要を理解することができる。 すでに習った英文を、聞き手に内容が伝わるように音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な単語や文法を使って、個人的な内容(将来の夢や現在の高校生活の様子やこれまでの思い出など)に関する文を書くことができる。 聞いたり読んだりした内容に関して、簡単な単語を使って、感想や意見を短く書くことができる。
4 (2学年)	<ul style="list-style-type: none"> すでに習った英文の内容を言い換えたものを聞いて、内容を理解することができる。 日常生活や身近な話題について、その概要や要点を理解することができる。 ゆっくり話されたら、自分が知らない外国の行事や習慣についての説明を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で習った話題について、キーワードを頼りに、内容を大まかに説明することができる。 身近な話題について、簡単なプレゼンテーションをすることができる。 身近な話題について、簡単な表現を用いて、個人的な意見を述べたり、友人と情報を交換することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> まとまりのある説明、評論、物語、随筆などを読み、各段落のキーワードを探し、それを手がかりに内容を整理することができる。 まとまりのある説明、評論、物語、随筆などを読み、各段落のトピックセンテンスや要点、筆者の主張を理解することができる。 実用的な英文(ゲーム、ものの組み立て方など)を読み、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題に関して、簡単な理由を示しながら、賛成・反対の意見を書くことができる。 簡単な表現を使って、自分のやりたいことや学びたいことの志望動機や説明を書くことができる。 自分の住んでいる町や名所を説明する文を書くことができる。
5 (3学年)	<ul style="list-style-type: none"> 映画やテレビドラマの会話の流れを部分的に理解することができる。 日本語の字幕を参考にすると、映画のセリフで使われているフレーズを聞き取ることができる。 授業で聞く身近な場面の内容を、何度か聞けば、ほとんど理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについて、準備をした上で、概要を説明したり、自分の考えや感想などを述べるすることができる。 短い読み物や記事を読んで、メモがあれば概要を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的長い説明、評論、物語、随筆などを読み、全体から筆者の主張や論旨を理解することができる。 日本の英字新聞(The Japan Times/The Japan Newsなど)で身近なテーマや興味のある内容の短い記事を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文と文を and, but, because などをつないだり、時間、場所や条件などを追加しながら、正確な情報を備えた文を書くことができる。 新聞記事や自分が観た映画に関して、自分の意見や感想を書くことができる。 用途や目的にあったメールを書くことができる。
6 (3学年)	<ul style="list-style-type: none"> 自然なスピードで話されても、日常生活での会話を理解することができる。 身近でかつ具体的な話題について、その内容を理解することができる。 英語で行われる授業や発表会に参加して、身近な話題であれば発言内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題であれば、要点をまとめながら、5分間程度のスピーチやプレゼンテーションができる。 身近な社会問題について、自分の意見を述べたり、友人と情報を交換することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な問題に関する連続した複数の段落から構成される英文を読み、各段落の内容を理解し、英文の流れを把握することができる。 概要や要点を把握するために流し読みをしたり、自分が欲しい情報を拾いながら目的に応じて読むことができる。 レポート作成やプレゼンテーションのため、インターネット、新聞、雑誌から必要な情報を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり読んだりした内容に関して、その概要を書くことができる。 時間の流れに従って、旅行記、自分史、身近なエピソードなどを書くことができる。 統計データを用いたエッセイのような、複数のパラグラフを使い、流れが分かる文章を書くことができる。